

今年の二月にミャンマーでクーデターが起きた。軍が政権を掌握し、反対する人々を武力で鎮圧した。また、ネットワークも遮断され人々が自由に情報発信できなくなった。私は軍が人々に銃を向けている映像を見て、思わず目を塞いだ。本当に痛ましい出来事であった。人々が常に上からの圧力に脅やかされていた。ミャンマーは、果たして平和であると言えるのだろうか。

私は、平和とは、誰もが他から脅やかされずに、人権が守られ、争いがなく誰でも幸せに生きられる状態のことだと思う。ミャンマーは平和からかなりかけ離れた状態であったと言える。では、平和を実現するため、私たちが意識しなければならぬことはどのようなことだろうか。私は以下の二点について考えた。

一つは、自分の私利私欲をおさえること。私は、自分達だけの欲求や欲望に走りすぎた結果、他と衝突することが戦争の根本的な原因だと考える。自分達ばかりの欲望にとらわれすぎると他人のことが見えなくなるのではないかと思う。そのことが世の中に争い、混乱をもたらし、人々が何かに脅やかされなければならなくなっていると感じる。だから、私は私利私欲を抑え、他を思いやるのが平和の実現には必要だと考える。常に自分の欲望をコントロールし、周りのことを考えることが、平和への実現の第一歩ではないか。

平和の実現

真和高等学校2年

木野恵輔

もう一つは、世の中にもっと関心をもち、国民参加型の政治をすること。世の中に無関心でいると、政治は権力者の争いの場となり、国民は見捨てられるだろう。我が国は戦争を経験し、戦争の悲惨さを受けついで来たので現在まで平和でいられた。一方で、世界は国ごとに

「平和」の定義が異なり、それが戦争の原因にもなりうる。そのため、軍事力、外交力を含めた総合的な安全保障政策にも関心を持つべきだ。これから未来を担う私たちは、世界中に目を向けながら国の政治の動きにも注視していきたい。

平和を実現するには、一人一人の努力にかかってくると思う。各国が互いに内情を理解し合い、お互いの考え方を尊重し合っ「問題」を対話で解決するべきだ。さらに、戦争の発端になりうる指摘されている経済格差や食料・水問題などへの取り組みも重要である。世界中が同じ平和の目標を立て、一丸となって努力することが必要である。

ミャンマーに限らず、世界中で紛争が起こり、多くの子供達が犠牲になっている。それを念頭において平和の大切さを噛みしめ継承していきたい。